

業況調査結果について

○調査期間：平成22年4月中旬～5月中旬

○調査対象：従業員規模おおむね30人以上の製造業を中心とした市内企業45社

1. 人員の状況

状況	過剰	やや過剰	適正	やや不足	不足
企業数	1	7	33	3	1
割合	2.2%	15.6%	73.3%	6.7%	2.2%
割合(前回)	10.4%	18.8%	62.5%	6.2%	2.1%

2. 業況

	状況	悪い	やや悪い	変わらない	やや良い	良い
対前回訪問時	企業数	2	2	13	14	8
	割合	5.1%	5.1%	33.3%	35.9%	20.6%
	割合(前回)	14.3%	14.3%	14.3%	40.0%	17.1%
対前年同期	企業数	5	8	12	12	8
	割合	11.0%	17.8%	26.7%	26.7%	17.8%

※「対前回訪問時」については、昨年11月に訪問実績のある計39社を対象としている。

3. 今後の業況の見通し

状況	悪くなる	やや悪くなる	変わらない	やや良くなる	良くなる
企業数	5	8	13	19	0
割合	11.1%	17.8%	28.9%	42.2%	0.0%
割合(前回)	25.0%	14.6%	35.4%	22.9%	2.1%

4. 設備投資の予定（複数回答可）

種類	土地	建物	機械・設備	事務機器	車両	予定なし
企業数	1	1	16	0	0	27
割合	2.2%	2.2%	35.6%	0.0%	0.0%	60.0%
割合(前回)	2.1%	2.1%	22.9%	2.1%	2.1%	68.8%

5. 特徴的な事項

- 人員として、「適正」と回答する企業が多くを占める。
- 業況として、対前回訪問時（昨年11月）と対前年同期では、どちらも「変化がない」又は「やや良い」と回答する企業が多くを占める。
- 今後の業況の見通しとして、「悪くなる」と回答する企業の割合が減少し、「やや良くなる」と回答する企業が約4割を占める。
- 現在抱えている課題として、約5割が「販路拡大」、約3割が「人材育成」を挙げている。